

1、平成30年度の研究主題

「伝え合い学び合う子の育成」（今年度は、教科はしぼりません。）

2、研究主題・副題の設定理由

本校の研究主題である「伝え合い学び合う子の育成」の「伝え合い学び合う子」とは、昨年度の研究で培った「思考力」を生かすことを目的としました。今年は、

- ・自分で考えたことを友達や地域の方々等に考え等を伝える。

学び合う（かかわり合う）子を目指し育成する。以下のことを目指す為に研究主題として設定しました。

3、研究を推進する上での課題と解決のための取組

- ①「伝え合い学び合う子」を各分科会で明らかにした上で、実現するための「手立て」を考えて研究授業で検討する。

②分科会が考える「伝え合い学び合う子」とは。（目指す児童像）

＜低学年＞

低学年が考える「伝え合い学び合う子」とは、自分の考えをもって、それを相手につたえることができることと考える。その際に、

- ① 友達の考えと自分の考えが「同じ」「違う」などの視点をもって相手の話を聞くことができる。
- ② 友達に伝えることが楽しいという素地がもつことができる。
- ③ 「ペア学習」「自分の体を使って表現するなどの動作化」「発表（音読など）」を通して伝えることの楽しさを味わえることができる。

＜中学年＞

中学年が考える「伝え合い学び合う」とは、

児童の実態から考えると、自分の考えをもつことができない子が多くいる。まずは、自分の考えをきちんともたせて学習に参加させることが大切だといえる。自分の考えをきちんともっていないと伝え合い学び合うことは、難しい。しかし、最初は、自分の考えがなくても、友達の話聞いていくなかで自分の考えをもつことができる子もいる。伝え合い学び合う上で、「友達の話聞いて自分の考えをもつこと」も学び合いの大切な資質・能力のひとつであると考えます。

＜高学年＞

高学年が考える「伝え合い学び合う」とは、教科の特性や状況によっていくつかのパターンに分けることができると考えられる。

- ① 自分の考えと友達の考えを「比較」「分類」して話を聞くことができる。

自分の意見をもつ → 人の考えと自分の考えを「同じ」「違う」「つけたし」という視点で「比較」「分類」する。 → 自分の考えがより深まる → 発表する。

- ② 適切な表現方法を選べることができる。

それぞれのテーマを見つけ発表する場面で、聞き手（大人・1年生など）を意識して表現方法を選ぶことができる。

・スピーチ ・ポスターセッション ・パワーポイント等

- ③ 「伝え合い学び合う」には、「聞き手」を育てることが重要である。

人が表現したことや発表したことを、きちんと目的や視点をもたせて聞くことによって「聞き手」が育つといえる。

- ・お互いを評価し合う。
- ・よい考えを真似る。
- ・自分の考えと相手の考えを聞き比べる ことが大切である。

②「授業交流日」を設けて、分科会ごとの手立てを明らかにしていく。

研究授業で明らかにした各分科会の「手立て」が効果的かどうか、今年度校内研究授業ではない先生方が「授業交流日」を設けて授業を行う。※参観した先生方が、「授業参観チェックシート」をもとに手立てを検討していく。

「授業交流日」日程（予定）

	「授業交流日」日程と教科（予定）
2 学期	井浦（10月16日）・・・算数 斉藤（10月 or 11月）・・・算数 北川（11月）・・・英語 石戸（12月）・・・音楽
3 学期	西田（2月初旬）・・・理科 萩原（2月18日月曜日）・・・図工

研究推進部

授業参観チェックシートの項目

○研究テーマ「伝え合い学びあう子の育成」としての「手立て」が授業の中で有効に働いていたかどうか。（例）ハンドサイン・グループでの話し合い。

※テーマに対して有効だと感じられた点もあれば書いてください。

他のチェックとして

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| A、「思考力」を促す教材の工夫 | B、児童の「実態」に合わせた教材の工夫 |
| C、「問題解決的」な学習過程 | D、児童の「活動時間」の充実 |
| E、学習の「見通し」のもたせ方 | F、多様な考えを引き出し思考を促す「発問」 |
| G、児童のよる「主体的な学習」を促す工夫 | |
| H、学習を深めたり、多様な考えを引き出したりするための「学習形態」 | |
| I、学びを深めるための「多様な学習活動の構成」 | |
| J、教師による児童の考えの把握 | K、思考の「つまづきや停滞」への対応 |
| L、児童の意見を生かした学習の「まとめ」 | M、その他 |

4、「マイチャレンジタイム」

- ① 児童が興味や関心のあることについて調べ、まとめ発表していく学習をします。

※まとめる内容については、「自由」ですが、調べて発表するという流れです。

※1・2年生は、生活科の学習を生かしたものや、図鑑の絵を写したものなどでも良い。掲載例えば、

- 尊敬する人物について。○ 大なわの回数を増やすコツ。○ 係・当番活動の反省。
○ おすすめの本や新聞、テレビ番組 ○ 得意料理の作り方。
○ サッカーで上手にパスを出す方法。○ 逆上がりをうまく回るコツ。などです。

(2・3学期のマイチャレンジ)

10月 19日・26日

11月 2日・9日・17日・22日。 12月 7日・14日・21日

1月11日・18日・25日

2月 1日・8日・15日・22日・28日

※学級で2月に発表する代表の児童を決める。

3月4日(月)発表

② 3月4日(月)全校朝会(8:25～8:40)

に各学年から1名、調べてきたことについて紹介する。

5、今後の研究として

- ① 協議会で話し合う視点を決める。
「伝え合い学び合う子」の手立てが有効だったかどうか。